

群 教 セ	G09 - 03
	平 30.269 集
	英語一高

高校英語における 即興性のあるコミュニケーション能力の育成

—表現活動を取り入れたリスニング指導の工夫—

特別研修員 五十部 綾子

I 研究テーマ設定の理由

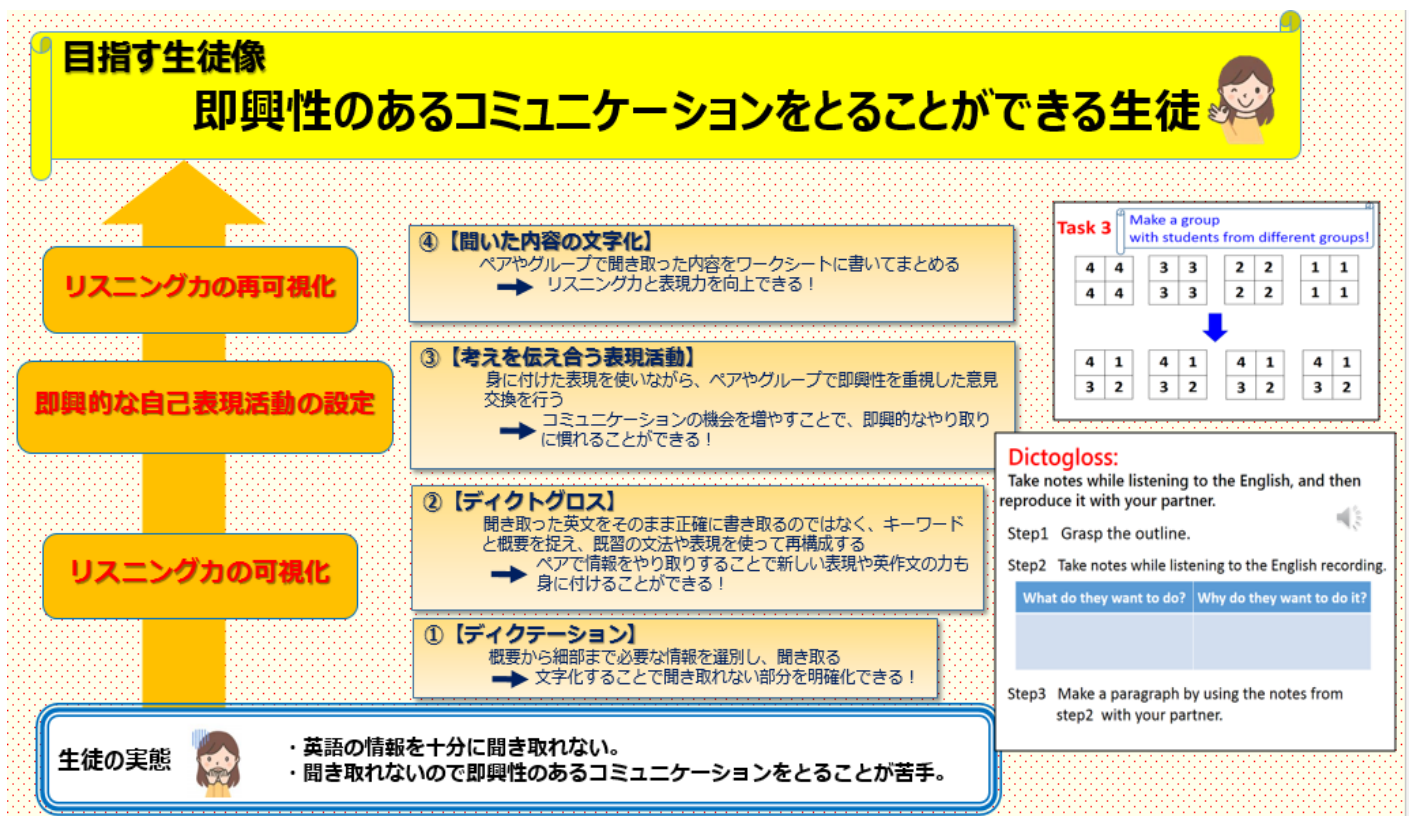
学習指導要領（平成 20 年 3 月告示）や第二期群馬県教育振興基本計画（群馬県教育委員会）では、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の養成や、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したりする能力の育成が求められている。

研究協力校（以下、協力校）の 3 年生の多くは、これまでの英語学習において、英語を用いたコミュニケーション活動に対し前向きな姿勢をもっている。また、前述の態度や能力を更に向上させたいと考えているものの、自分の考えを英語で書くことには積極的に取り組むことができるのに比べ、スピーキングやリスニングのような、より即興性が求められるコミュニケーションを苦手とする生徒が多い。その理由として、情報や要点を聞き取る力の不足と、即興的やり取りの練習不足が考えられる。基本となるリスニング力を高めるために、英語の語順のまま理解できるよう、多くの英語を聞いて、誰が何をどうしたのか瞬時に理解する力を身に付けながら、コミュニケーションをとれるような場面設定をする必要がある。

そこで、ディクテーションやディクトグロスを取り入れてリスニング力を可視化したり自分の考えを表現し合う活動をしたりすることで、情報や要点を正確に聞き取る力を向上させ、即興性のあるコミュニケーション能力を育成することを目指し、上記テーマを設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 授業改善に向けた手立て

即興性のあるコミュニケーション能力を育成するためには、英語で発せられた情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したりすることが重要であり、その前提としてリスニング力が要求される。そこで、以下の二つの手立てを用いて授業を行う。

手立て1 リスニング力の可視化

英語で発せられた情報を的確に聞き取るためには、英語の発音やイントネーションの特徴を捉える必要がある。ディクテーションは、聞き取った音声をそのまま正確に書き取るものであるため、当然、聞き取れないものは文字化することができない。生徒一人一人が自分の不得意とする部分を明確化することは、正確な語彙や文法といった表現力を身に付けることにつながる。さらに、ディクトグロスも取り入れる。ディクトグロスとは、聞き取った英文のキーワードや概要を捉え、その内容を英語で書いて再現する活動である。聞いたことを文字として可視化することで、話の流れをつかむところから、細かな情報の理解まで、どこをどう聞き取るべきかが分かるため、生徒の気付きにつながると考える。また、即興的な自己表現活動後、やり聞き取った内容を書いてまとめ、再可視化することで表現や語彙の定着につなげる。

手立て2 即興的な自己表現活動の設定

自分の考えを適切に表現する機会は、日常生活のあらゆる場面で想定される。実生活のコミュニケーション場面においては、その多くに即興性が求められる。その場その場で必要な情報を取捨選択しながら自分の考えを即興的に表現する活動を取り入れることで、より意味のあるコミュニケーション活動にする。

III 研究のまとめ

1 成果

- リスニング力の可視化により、漠然とした理解から根拠をもった理解へとつなげることができた。ディクテーションの手法の一つ、ディクトグロスに取り組むことで、95%の生徒が以前に比べてリスニング力が高まったと回答した。まとまりのあるパラグラフとして書いて再現する必要があるため、生徒は概要を聞き取れることを意識し、聞き取れた情報を基に文脈を推測しながら聞く習慣ができた。よりまとまりのある英文を理解できるようになったため、英文全体の理解度が深まったと考えられる。また、多くの生徒が、リスニング力だけではなく、英作文の力が身に付いたと回答した。内容を書いて再現する際、それまでに習得した言語材料や辞書を活用して言い換え表現を考えたり、ペアで協働して取り組んだりすることにより、新たな表現を身に付けることができた。さらに、よりまとまりのあるパラグラフとして構成するために、論理的に考えたり表現したりする力の養成にもつながった。
- トピックに関連した即興的な自己表現活動では、約80%の生徒が自分の考え等を表現することに対する苦手意識が軽減したと回答した。自己表現活動は、提示されたトピックに関して賛成、反対をその根拠とともに述べるパターンや、自分がその立場だったらどうするかというパターンなどを中心とした。リスニング教材やディクトグロスで学んだ表現を自分の考えとして実際に使用するため、理解が深まるとともに表現の定着にも役立っている。また、表現活動は、ペアやグループで実施した。リスニング力の可視化という観点から、意見を共有した後、相手の発言をワークシートに書いてまとめる活動を設定した。そのため、相手が自分の考えを理解しやすいよう表現や伝え方を工夫したり、相手の発言をより理解しようとしたりする姿が見られた。リスニング後のライティング活動は、情報や考えを理解したり表現したりする力を身に付けるだけでなく、コミュニケーション能力を養うことにもつながった。

2 課題

- 授業で使用したワークシートや、生徒同士の英語でのやり取りの様子から判断すると、表現する英語の正確性が高まったとは言い難い。実際に英語を使用する場面において正確さは必要不可欠であるため、流ちょうさと正確さのバランスを意識し、授業内で誤りを訂正したり、よい表現を共有したりする場面を確保する必要がある。

実践例

1 題材名 コミュニケーション英語Ⅲ リスニング応用問題 第2回 第4問B (第3学年・2学期)

2 本題材について

学習指導要領において、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の養成や、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したりする能力の育成が求められている。そこで、題材を活用して実践的リスニング力を高めながら、即興性のあるコミュニケーション能力も身に付けられるような授業づくりを行った。本時で扱う第4問Bは、ある課題に対して3名が自らの意見を述べ合う討論形式の長い会話であり、今年で学校を離れる Sakai 先生について、Mayu、Rei、Eiji が先生に対する感謝の気持ちをどのように表現したらよいかを話し合っている。事前学習として、設定されたリスニング問題に答えるだけでなく、ディクテーションを通して使用されている表現に慣れ親しませる。その後、情報や要点を聞き取る力を養うために、第4問Bのテキストに基づき100語程度に編集した英文を用いて、キーワードを押さえ、英作文する活動(ディクトグロス)を取り入れる。また、トピックに関連した話題について即興的に自分の考えを表現し合う場面も設定することで、即興性のあるコミュニケーション能力の育成を図る。

以上のような考えから、本題材では以下のような指導計画を構想し、実践した。

目標	英語で情報を聞き取り、三人の話者のそれぞれの考えや意見を理解し、聞き取った内容を再現する。また、関連した話題について英語で自分の考えを伝え合う。	
評価 規 準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ペアワークなどにおいて、しっかり声を出し互いに協力しながら取り組もうとしている。
	外国語表現の能力	語句や表現、文法事項などの知識を活用して、本文の概要や自分の考えを適切に表現することができる。
	外国語理解の能力	概要や要点をとらえるとともに、本文の内容を理解し、発問に的確に答えることができる。
	言語や文化についての知識・理解	語句や文構造、文法事項などについての知識を身に付け、理解している。
過程	時間	主な学習活動
課題 追 究	第1時	<ul style="list-style-type: none"> 英語を聞き、設問に答える。 英語を聞き、ディクテーションをする。 音読練習をする。
	第2時	<ul style="list-style-type: none"> 英語を聞き、設問に答える。 音読練習をする。 英語を聞き、ディクトグロスをする。 関連した話題について、自分の考えを表現し合う。
	第3時	<ul style="list-style-type: none"> 英語を聞き、設問に答える。 音読練習をする。 英語を聞き、キーワードに注意しながら、ディクトグロスをする。 関連した話題について、自分の考えを表現し合う。
まとめ	第4時	<ul style="list-style-type: none"> 英語を聞き、設問に答える。 音読練習をする。 英語を聞き、キーワードに注意しながら、ディクトグロスをする。 関連した話題について、即興で自分の考えを表現し合う。

3 本時及び具体化した手立てについて

本時は全4時間計画の第4時に当たる。ワークシートを活用して、聞き取った情報を整理しながらペアで協力して英語で再現し、関連した話題について自分の考えを発表し合うことを目標として、次のように手立てを具体化した。

手立て1 リスニング力の可視化(ディクトグロス)

ディクトグロスは、ディクテーションとは異なり、聞き取った音声をそのまま正確に書き取る必要はない。本時はテキストに基づき100語程度に編集した英文を4回流す。1回目は概要を捉え、2、3回目でキーワードを聞き取り、4回目で細部を確認するというステップを踏む。ペアで情報や知識を共有することで理解を深める。また、キーワードを聞き取る際に手掛かりを与え、情報を聞き取ったり表現したりする上で有効な視点が身に付くよう工夫した。

手立て2 トピックに関連した即興的な自己表現活動

ディクトグロスで聞き取った表現や情報を活用しながら、教師から提示された質問について自分の考えをもつ。1回目はペアで意見交換をする。2回目はグループになり、グループとしての意見をまとめる。その後、他のグループのメンバーに対し、自分のグループを代表して意見を伝える。再び元のグループに戻り、聞いた内容を発表し合う。最後に、聞いた中で最もよいと思う意見をワークシートに書いてまとめる。自分の考えを伝えるだけでなく、他者の意見を聞いて伝えるという活動と書いてまとめる活動があるため、生徒はスピーキング、リスニング、ライティングといったコミュニケーション活動を行うことができる。

4 授業の実際

(1) ディクトグロス

活動の初めに、ICT機器を用いてスクリーンに活動の流れとポイントを映し、クラス全体で確認した(図1)。ここでは、協力校の生徒の実態に合わせ、一般的なディクトグロスの実施方法にアレンジを加えた。本時、生徒は英文を4回聞くことができ、聞き取る際のポイントとなる手掛かりをワークシート上に与えた。1回目は英文の概要を捉える。2回目、3回目では提示された手掛かりに注目しながら聞き、ワークシートにキーワードをメモする。3回目が終了した時点でペアになり、生徒は互いに情報や知識を共有しながら、10分間で英文をワークシートに再現する。その際、生徒には放送された英文をそのまま正確に書き取る必要はなく、概要を捉え、すでに習得している文法や表現を使って再現してもよいことを伝えた。その後、4回目を聞いて細部を確認し、完成させる。最後に、ICT機器を活用して、スクリーンに放送した英文のスク립トを映し、クラス全体でその内容を確認するとともに、どのような言い換えが可能かを生徒に問い掛け、表現を共有した(図2)。クラス全体での共有や内容を英語で再現する際のペアワークにより、多くの生徒が「様々な表現を身に付けることができた」と自己評価している。

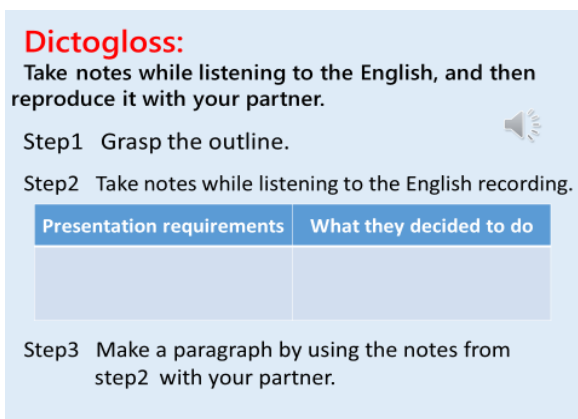


図1 ディクトグロスの説明スライド

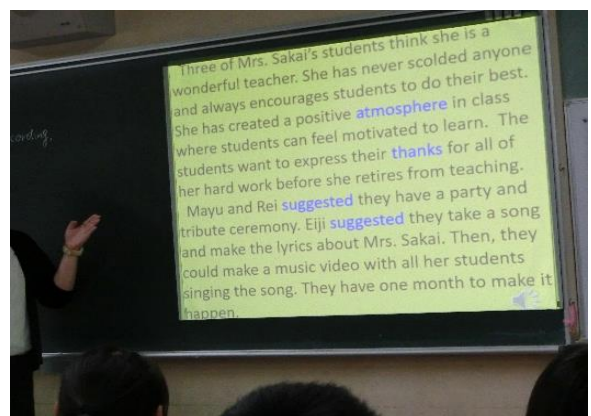


図2 スクリプトを共有する様子

(2) トピックに関連した即興的な自己表現活動

ディクトグロスで内容や表現を確認した後、「あなたが Sakai 先生の生徒だったら、どのように感謝の気持ちを表現しますか」という話題について、ペアで意見を交換した(図3)。即興性を求めるため、教師が簡単な例を示すにとどめた。次に、グループで「1 感謝を伝えたい人、2 その表現方法」について意見をまとめた。さらに、メンバーを総入れ替えし、今度は元のグループの代表として、新たなメンバーに伝え合う場面を設けた(図4)。再び元のグループに戻り、自分が聞いた考えをメンバーに伝え、最もよいと思う考えをワークシートにまとめる活動を行った。グループの移動はやや複雑な動きをとともなうため、口頭での説明の他に ICT 機器を用いてスクリーン上にも示した(図5)。グループの代表として考えを述べるため、全員が責任感をもって活動に取り組んでいた。



図3 ペアで意見を交換する様子



図4 グループで意見を交換する様子

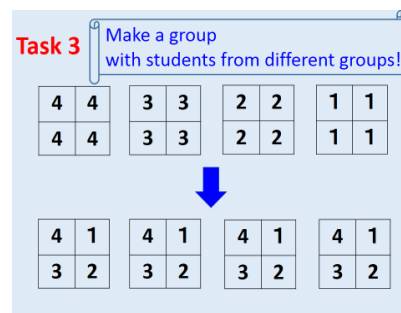


図5 グループ移動の説明スライド

5 考察

(1) ディクトグロス

実践後のアンケートで、ディクトグロスがリスニング力の向上に役立ったと回答した生徒に、具体的にどのように役立ったのか尋ねたところ、「要点を抜き出して聞けるようになった」、「長いまとまりも意味が分かるようになった」などの回答が得られた。このことから、ディクトグロスは、情報や要点を聞き取る力の養成に役立ったと考えられる。同時に、「英作文の力が付いた」という回答も複数あった。(図6)。聞き取った内容をペアで協力して再現する際、文法や語法について相手が理解できるように説明しながら文を作っていくことで、既習事項がより定着し、表現力や思考力の養成にもつながった。

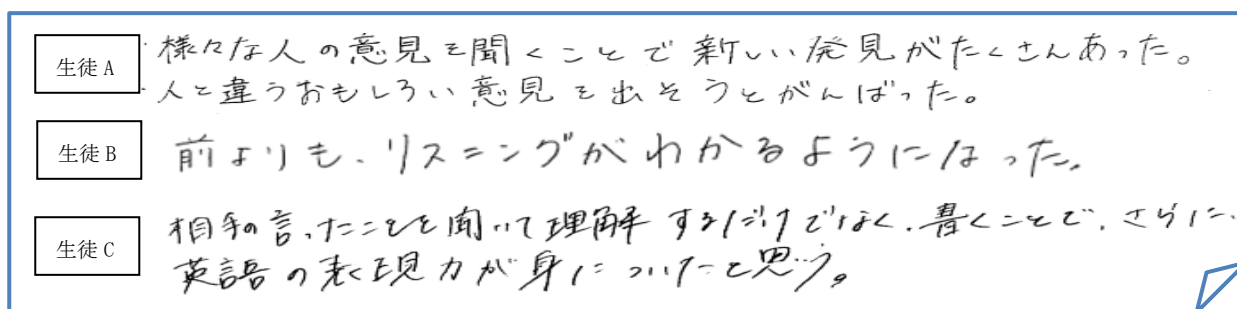


図6 生徒アンケート回答

(2) トピックに関連した即興的な自己表現活動

自己表現活動は、回を重ねるごとに英語で発言するスピードが速くなり、発話量も増えている。アンケートには、「要所を的確に伝えることを心掛けた」、「相手の言ったことを聞いて理解するだけでなく、書くことでさらに英語の表現力が身に付いたと思う」、といったリスニングとスピーキング、そしてライティングを関連させて捉えた回答が見られた。このことから、即興的な自己表現活動の繰り返しとリスニング力の可視化が、表現力と即興性のあるコミュニケーション能力の向上につながるということが分かった。また、ペアやグループでの協働活動により、多くの生徒が「英語の表現力が高まり自分の視野が広がった」と感じている。英語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感できたことは、今後の学習意欲向上にもつながるといえる点において意義があったと言える。

ワークシート

Center Listening 第2回 class no. name _____

Task1 Dictogloss Listen to the English, and then reproduce it with your partner.

Step1 Grasp the outline.

Step2 Take notes while listening to the English recording. There are two clues.

What do they want to do?	Why do they want to do it?

Step3 Make a paragraph by using the notes from step2 with your partner.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

Task2 Express your idea!



Task3 Write down the best idea you heard!

.....

.....

.....

Reflection Look back on today's class and write down what you've learned.

Did you achieve today's goals?

.....

.....

.....